

# 貴方と貴方の家族を守る「家」がここにある。

## ケーズホームが提案する二つの家づくり

日本の資源を守るも壊すも住宅産業。  
貴方の家を守る「木」が日本の森を守ります。

純国産材で造る木造住宅

# TWO Story Homes

◎無駄を楽しむ2階建て

家族と人生を楽しむ家

長いアプローチの奥に愛する車を優しく休めるガレージが有って、そこから寒暖の気兼ねなく家に入る、雨も台風も気にならず、広がるリビングは優しい杉と桧に囲まれた空間。  
天気の良い日は、ダイニングテーブルを外に出して、ティータイムを楽しむ。  
動と静、メリハリのある生活を家族と共に過ごす<TWO Story Homes>がここにあります。  
世代を超えて、普通の姿を伝える家の在り方です。

省エネ住宅の次に来るもの。(循環型社会の実現に向けて)

新玉の年を迎え、謹んで皆様のご多幸をお祈り申し上げます。新年に相応しい、これからの家づくりのお話。

「家」を形づくる「木」は、自然界に生えています。日本では殆どが人工林として育てられたものです。  
現在、私たちの手元に届く住宅の構造用の木材は、約60年前に植えられたものです。  
私が現在61歳ですから、1歳の時に植えられた木が今「家」となって皆さんの元へ届くのです。  
その「木」を伐った後は、新たな苗木を植え、更に60年後に材料となって、伐り出されるとすると、私の子供が現在30歳で90歳になりますから、孫は60歳、そのまた子供が生まれたとするなら、30歳前後でしょうか。  
つまり、親子2代どころか、4代目にして初めて再建築の時期を迎えることになるのです。

「林業は、遠大な農業だ」とも言われます。  
植林をして、下草を刈り、間引き、間伐、枝払い、更に間伐と繰り返し、育てるのでから確かに、途方もない年月を懸けた農業、と言えなくもないですね。  
成長するのに、30年、50年と掛かり、ようやく売り物になる時は、育てた人はこの世に居ない!これが林業なのです。

現在の日本の木材の流通は、「木」を育てる「山林家」(山の所有者)から「木」を伐り出す「伐採業者」(主に森林組合)が丸太のままで、市場に運び込み、これを商社や材木問屋がセリで落とします。  
更にそこから製材所へ持ち込んで、製材賃を払って加工します。  
それを材木店に販売して在庫とさせます。  
材木店は、工務店、建築会社、大工さんなどからの依頼を受けて、設計図を基に加工(プレカット)をするのですが、最近では材木店が在庫をせず、プレカット会社に図面だけ送って、加工済みの木材を販売しているのが、現状の木材販売形態です。  
自由主義経済の論理で、買い手市場であれば、木材は何処までも安くなって、売り手市場になればたちまち高騰します。

ただ、その利益を得るのが誰か?が問題なのです。つまり、急激な需要増は、市場の価格を押し上げるものの、元の山林主まで届かず、中間業者の間で吸収される結果となったのです。  
こうした乱高下は、あくまで市場取引として繰り広げられたのであり、本来、山の木を育てる立場で、安くて困っている山林業者には殆ど利益をもたらすことはありません。  
そんな中でも、異色の経営をしている山林業者が有ります。  
その会社は、紀州和歌山の田辺市に本社を持つ創業が江戸中期の「山長商店」です。  
自らの山林を東京の山手線内に相当する5,000ヘクタール以上を抱え、植林から育林、間伐、枝払い伐採などを全て自社の社員で行い、運搬から木挽き乾燥、プレカット工場まで運営して、弊社のような工務店へ直接販売する、いわゆる製造直売の道を切り拓いています。  
紀州和歌山は、日本でも有数な多雨の地域であり、山も適度に急峻で高度は高くありません。  
これは、杉や桧が育つには、絶好の地と言えます。そうした、会社の取り組みや実際に伐り出すところなどを、施主様に見て戴くツアーもしています。(今回のF邸ご夫妻もご一緒しました)  
柱一本一本の全てに強度試験をして選別し、適材適所ムラのない様に配置します。  
このような検査をしている工場は、殆ど前例が有りません。  
貴方の建てる家の柱が何処で育って、どの様な強度を持っているのか?が解るのです。

### 山長商店の生産地見学ツアー



透き通った水の流れが、森の中を流れていました。山と付き合って40年の松本さんから「木」の話熱心に聞くF夫妻



和歌山の山奥、通が彼方の山脈まで、山長商店の森です。毎日数百本の杉と桧を伐採しています。機械は一台2,000万円以上もする最先端機。



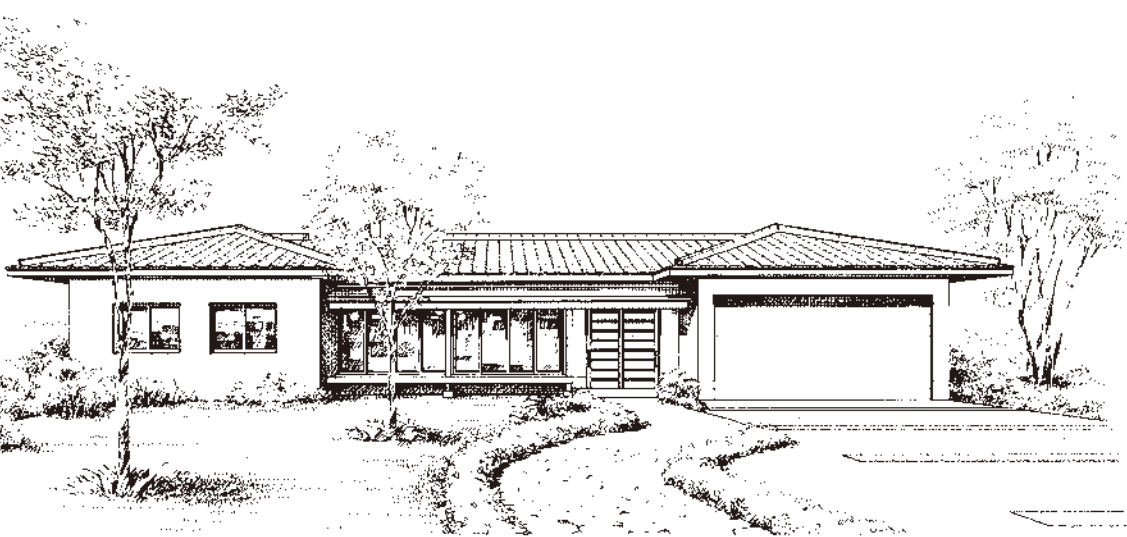
緩やかな斜面と言ってもこれくらい。11月の小春日和の木漏れ陽の中を歩きます。樹齢100年前後の林は、森林浴感満点です。



伐り出された木は、工場に運ばれ、様々なサイズに加工されて、人工乾燥機に入れた後に、ひび割れ、反り、歪みなどが出たところをチェックします。(強度試験を全数しています)



最終加工(プレカット)材として加工機に入れられた木材は、一部一部を梱包してストックされます。一ヶ月に50部から60部ほどの生産がされて、出荷されていきます。



純国産材で造る平屋木造住宅

# ONE Story Homes

◎深く暮らす平屋の住まい

「平屋に住まう一つの物語」と読み解くと、何かしら感慨深げです。  
平屋の家、それはある意味で贅沢と言えましょう。だからこそ、不要な大きさを求めず、最小限の生活空間を確保することが意味を持ち、深い暮らしが見えてくるのです。  
育てた雛は巣立ち、守るべき家族は最小限になった今、そしてこれから。シンプルに無駄なく暮らすこと。貴方がどう生きて来たか、これからどう暮らして往くか、物語は続きます。  
貴方だけの<ONE Story Homes>を。  
貴方が守った<家>が、これからは<貴方>を守ります。平屋だから得られる安全、安心。

### 平屋の安全性が改めて証明された地震の被害

震災大国の我が国に、地震の起きない場所は有りません。そんな中で、家がわが身を助けるか否か、はとても重要な事です。  
4月に起きた熊本地震でも、建物の下敷きになって亡くなった方が多くおられます。せっかく助かって、家が全壊や半壊、大きく損傷を受けては、暮らし続けることすら出来ません。建物の被害の多くは、1階が2階の重さに潰されるように倒れていました。耐震設計をする上でも、平屋と2階建てでは全く違います。

### シンプルなデザインは普遍的安らぎ(純国産材が醸し出すくつろぎ)

この国に生まれ育った私たちは、桧や杉の香りを嗅ぐと、何故か寛ぎます。ヒノキチオールやフィトンチッドに包まれ、家の中に居ながら森林浴を感じる。そう感じさせる木は、この国で育った桧であり、杉ではないでしょうか。そんな香りに囲まれた空間に身を置き、くつろぎと明日への活力を得るのです。  
これから必要なものは物質ではなく、良い時間と、それを過ごす良い空間です。  
家族の中に個として生まれ、巣立ち、やがて自らの家族を持ち、再び個に還って暮らす。時に、巣立った家族を迎え入れ、時に一人の時間を堪能する空間。広過ぎず、狭過ぎず、丁度良い距離感の有る暮らし。  
平屋の家だからこそ、実現できるのです。

### 平屋だから、床も温度もバリアフリー

家族を守るはずの<家>が時として凶器になる事が有ります。つまずいて転ぶ。家の中の事故では最も多いパターンです。転んだだけでも、骨折に繋がりが、寝たきりになる方もいます。  
そして今、更に危険と考えられている事が有ります。温度差による事故、ヒートショックです。

当り前の事ですが、平屋の家は階段が有りません。でもそれによって段差が無いだけでなく、寒暖の差が無くなり、ヒートショックの危険から解放されるのです。  
居間は暖房が効き充分な暖かさが有るのに、廊下へ出るとゾクゾクとする寒さが来る。  
トイレや浴室が寒く、肌を露出すると血管が収縮し、一時的に高血圧状態を生みます。そして、浴槽に入り、身体が温まりリラックスすると、血管が緩み、血流が良くなり、血圧の急降下を生むのです。血管が有る方は、それが移動して、脳の血管に行けば脳血栓に、心臓の血管に行けば心筋梗塞を起すことにもなりかねません。  
それだけでなく、血圧の急降下や急上昇は、意識を失ったりして、危険な現象です。建物内部の温度差を無くす事は、快適性だけでなく健康管理の上でもとても重要です。  
そしてもう一つ、温度同様に管理したいのが、「湿度」です。湿度なんて気にされた事が無い方が多いのではないのでしょうか?ところが、人体の健康にとって「湿度」はとても重要です。  
乾燥し過ぎればウィルス菌が、多湿になればカビやバクテリアの繁殖が盛んになります。  
接着剤を使わない天然木の家は、程よく調湿してくれるのです。



## 2月中旬に建築中の現場見学会を開催予定!

会場/半田市花園町3丁目



家の構造を知るためには建築中の現場を見る事が重要です。一つ一つ丁寧に説明させていただきますので、ご興味のある方はお気軽にお問合せ下さい。  
また日時などにつきましては弊社HPなどでお知らせ致します。  
※電話でのお問合せも大歓迎です。お気軽にどうぞ!



オーダーメイドキッチンを極めて30年、先進の木造住宅を始めて20年。愛知県内で50棟、知多半島内では40棟のオーダーメイド住宅を建ててまいりました。世界基準で建て続ける「小さな工務店」の造る家は、実際に住まわれている人から住み心地など、直接お聞きする事ができます。(OBオーナー様自宅訪問システム)。モデルハウスを持たない弊社では、OBオーナー様のご厚意のもと、知多半島内に建つ20棟以上の家を見学できます。中には築16年(2000年完成)のお宅もございます。

街の小さな工務店から、百年後も愛される家づくり

# K'z HOME

ケーズホーム株式会社

新築・断熱リフォーム・キッチン水回りリフォーム・ガーデニング

愛知県半田市出口町1-211-19 (MTTビル 1F)  
TEL.0569-25-0017  
FAX.0569-25-0012  
●K'zHOMEオフィシャルページ  
www.kz-home.jp

